

ハンノキカミキリ

前日までの天気予報が雨でしたが、当日目覚めるとお日様が我が家の居間に射し込んでいました。恒例の幌南小学校の藻岩山野外自然探勝授業の絶好の日和となりました。

4年生約80人。一班9人で9班に編成されていました。私は4班を受け持ち道々自然状況を説明していました。生徒の一人に「虫がいる。この虫何ですか?」と問われました。カミキリムシ科であることは瞬間でもわかりましたが、名前が分かりません。帰宅して調べました。ハンノキカミキリと同定します。2013年7月4日10時頃と記録しておきます。今回はそのハンノキカミキリです。



ハンノキカミキリはおしゃれでした。好みは個人差がありますが、色も形もとてもエレガントな装いなのです。胴体は黒といっても真っ黒ではなく、やや緑がかかっているような黒で赤も真っ赤で



はなくやや茶がかかったような赤の縁取りで、触覚は黒と明るいブルーとの段々です。神様のデザインとしても私好みであります。食性は名前のようにハンノキ類の生の木質部に穿入して材を食べます。支笏湖コンサの森のケヤマハンノキの若木がやたら幹折れしていると案じたことですが、こいつが犯人のようです。写真のようにあまり太くない幹を好むようです。山口県では絶滅危惧種に指定されているように希少な虫

のようなのです。分布は日本全国のようなのです。

小学校4年生は、生意気寸前でまだ無邪気さが残っていて可愛いのです。接してこちらの方が癒されました。9人の目で周囲を観察してくれますので、いろいろな虫を見つけられます。特には毛虫、芋虫たちが多くて、私のレベルでは対応しきれないのです。かろうじて、オオハナウドを食べていたキアゲハの幼虫が分かっただけでした。毛虫は全部お手あげでした。この時期いろいろな幼虫が目につくことを改めて教えられた次第です。

